

# 枚方淀川探鳥会2024年2月

## I 今月の鳥・ツクシガモ

2024年(令和6年)2月4日(日) 9:00~12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏、  
松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)



写真：西脇淳浩

今月の鳥は先月2024年1月の探鳥会で、淀川本流を泳ぐ**ツクシガモ**としました。私(平)が牧野探鳥会~枚方淀川探鳥会を担当するようになって2回目の観察、淀川ではまれな鳥であることがわかります。ツクシガモは、日本に冬鳥として渡来するが、特に**有明海を中心とした九州北部・筑紫地方で渡来数が多く「筑紫鴨」の和名もここに由来している。**

### I-①ツクシガモ：大阪府鳥類目録2016(日本野鳥の会大阪支部) および大阪府発表ガンカモ調査

大阪府では1983年11月に泉大津市助松埠頭で確認されて以降、大阪湾岸の埋立地を中心に、内陸部の淀川本流や人造池などで記録されている。1985年に日本で初めて、堺市堺2区埋め立て地で繁殖記録があるが、その後、繁殖はない。

最近の大阪府発表のガンカモ調査結果では、「**2022年度63羽(内南港野鳥園47羽)**、**2021年度95羽(内北港南地区91羽)**」と、一カ所に群で生息しており、そのほかは少数であることがわかる。

### I-②ツクシガモ：全国の状況

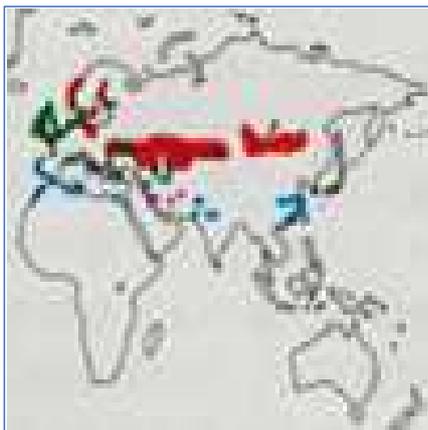
バードリサーチ・日本野鳥の会 全国鳥類越冬分布調査(2016-2021)

ツクシガモ *Tadorna tadorna* 全長：51-56cm 体重：700-900g



1980年代は有明海を中心に九州・中国地方で記録されていたが、2010年代は、これらの地域ほど個体数は多くないが、北の方へ分布が拡大していた。

環境省の「ガンカモ類の生息調査」による個体数は、2009年度以降増加傾向にある。



### I-③ツクシガモの繁殖地・越冬地

ツクシガモの大阪府内での越冬数が少ないことから、図鑑の繁殖地・越冬分布図を確認した。

←真木・大西「日本の野鳥590」

平凡社2000年11月

繁殖地が東部ロシアからスカンジナ半島と、西に伸びている。

日本から幾分離れているため、渡来数が少ないと思われる。

### I-④ツクシガモの食べ物

ツクシガモの日本での越冬地が、有明海や大阪湾岸の埋立地などの海辺に多いものの、淀川などの河川や久米田池のような内陸部の池でも観察されている。

清棲幸保著「野鳥の事典」東京堂出版  
1988年：第16版

によると、ツクシガモの食べ物は貝類・甲殻類・小魚・そして昆虫、海藻類も食べる。

## II 枚方淀川探鳥会コースの樹木伐採（再録）

### ■枚方淀川探鳥会コースの樹木伐採についての経緯と大阪支部の対応について 平 軍二

淀川河川敷には、30年以上樹木が伐採されていなかったため樹林化し、春秋の渡り鳥や、冬鳥が良く観察できることから「野鳥通り」と称されている場所がある。

2023年4月、淀川を管理している淀川河川事務所より、「野鳥通り」を含む枚方市域の河川敷、上流は三川合流点～下流は天野川合流点まで、樹林を伐採するとの連絡が入った。

淀川河川敷で探鳥会・野鳥調査を実施している地元団体、「枚方生きもの調査会」「枚方野鳥の会」と、「日本野鳥の会（枚方淀川探鳥会）」の環境三者が連絡を取りあい、樹木伐採に対する要望書を淀川河川事務所に提出した（8月）。

河川敷は本来の自然環境である草地や湿地環境が維持・保全されることが重要であり、樹木伐採を反対する立場にない。これまで上流の牧野ゴルフ場（本流側）などで実施してきたと同様に、鳥の止まり木となるよう、50mに1本程度で木を残すことにしてほしいなどを要望した。

要望書をベースに河川事務所とは何回も打ち合わせの上、河川事務所（+工事業者）と環境三者が、現地立ち合いで残すべき木などを、決定した。

11月中旬から伐採作業が急ピッチで推進されており、12/3時点の「野鳥通り」の伐採状況は写真の通りである。



今回の樹木伐採で枚方淀川探鳥会での観察種数が林の鳥を中心に減少する可能性もあるが、

- ・草原の鳥が良く観察できること
- ・草原から樹林へ変化と鳥の変遷が分かること 等を期待しながら、今後の探鳥会を開催したいと思っている。

### ← 淀川河川敷の樹木伐採について 大阪支部むくどり通信に掲載

2023年度に入って、淀川河川敷の樹林の伐採計画が発表され、「野鳥通り」と称されている30年間伐採されたことのなかった樹林伐採が12月に実施された。

この伐採を知った会員の方から、日本野鳥の会大阪支部はどのように対応したか、特にオオタカ営巣地はどうか、質問があった。

毎月の探鳥会資料で、淀川河川事務所との打ち合わせの経緯を報告してきたが、探鳥会に参加されて支部会員の方にもわかるよう、むくどり通信に報告してほしいと希望されたので、左のような文章を、むくどり通信の1月号に掲載した。

**尚、淀川河川事務所に対しオオタカ営巣個所周辺の樹林を残してもらうようお願いした結果、実際に営巣個所周辺の樹林が残されました。しかし、大阪支部がむくどり通信で「淀川河川敷にオオタカが営巣した」と、公表することに異論があり、記載していない。**



↑ 23/7/21 オオタカ若兄弟  
(写真 枚方野鳥の会竹内氏)



↑ 2023年11月5日

← 2023年12月3日

**(平追記)**左のむくどり通信に載せた写真左側に見える樹林が、今回オオタカに残された樹林「オオタカの森」、広さは「東西40～50m x 南北120～130m」です。

この狭い樹林へオオタカが戻って営巣してくれることは厳しいが、人の安全を優先して樹木を伐採せざるを得なかったことに対し、オオタカへのささやかなお礼のつもりです。

淀川河川事務所からは、オオタカが営巣しない場合には「全伐」を、とされています。

**尚、20年ほどで元の樹林が回復する筈です。**

### Ⅲ 先月(1月7日)探鳥会報告

写真: 西脇淳浩

スタート直後の淀川堤防上でハイタカを観察した後、淀川河川公園枚方地区の多自然池南側から淀川本流を見ると、ツクシガモ(3羽。牧野探鳥会時からこの11年間で2回目)や、ヨシガモが観察できた。多自然池のヤナギにシロハラが止まっていて見ていると、双眼鏡にイワツバメが入ってきたが、天野川河口にかけての上空にイワツバメの大群(100羽とした)が飛び回っていた。天野川岸ではタシギ・キセキレイ・セグロセキレイ・オオバンを確認した。野鳥通りの樹木伐採で淀川本流の鳥がよく観察できるようになったが、100羽を超えるキンクロハジロ、50羽のホシハジロ、11年間で初記録のミコアイサ(1羽)、カワアイサ、カンムリカイツブリなどがいた。中州の枯れ枝には、この11年間で初記録のハイイロチュウヒが止まっており、更に対岸高槻市側の樹林にはノスリを見ることができた。



ハイタカ



ハイイロチュウヒ



ノスリ



イワツバメ



カワラヒワ



モズ



キジバト



カワアイサ



イソシギ



野鳥通りから「オオタカの森」を見る(平) 2024年1月7日



セグロセキレイ



タシギ

### Ⅳ 来月2024年3月3日探鳥会

今日と同じように 大阪支部HPからホームズ様式からお申し込みください。

例年通りであれば、50種前後観察できる季節、樹林が無くなって林の鳥がいないので、草原の鳥・水辺の鳥を中心に、45種を期待しています。

## V 探鳥会観察チェックリスト

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023										2024		
			4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3	10/1	11/5	12/3	1/7	2/4	3/3	
5	キジ	49	3		2	1				1	1	1			
21	ツクシガモ	1											3		
26	オカヨシガモ	47		雨			夏					4	3		
27	ヨシガモ	16	10	天			休					1	6		
28	ヒドリガモ	44		中			み					3	2		
29	アメリカヒドリ	5		止											
30	マガモ	56	1									4			
32	カルガモ	91	12		6					6	4	6			
34	ハシビロガモ	9													
35	オナガガモ	8													
36	シマアジ	1													
37	トモエガモ	1													
38	コガモ	59	10										1		
42	ホシハジロ	40	3									31	48		
43	アカハジロ	4													
46	キンクロハジロ	42										182	114		
47	スズガモ	6													
58	ミコアイサ												1		
59	カワアイサ	46											15		
60	ウミアイサ	3													
62	カイツブリ	46	1								2	3	1		
64	カンムリカイツブリ	57	2									25	4		
66	ハジロカイツブリ	4										2			
74	キジバト	112	4		2	1		7	11	4	3	3			
83	シロエリオオハム	1													
127	カワウ	111	7		6			5	7	14	21	9			
139	ゴイサギ	10			1	5									
141	ササゴイ	15													
143	アマサギ	2													
144	アオサギ	113	2		1	1		2	2	3	5	4			
146	ダイサギ	109	5		6	2		3	5	4	1	2			
148	コサギ	100	5		1	1		2	2	6	5	3			
153	ヘラサギ	1													
154	クロツラヘラサギ	1									5				
166	クイナ	12													
170	ヒクイナ	7													
174	バン	23													
175	オオバン	48	53								26	83	53		

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023										2024		
			4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3	10/1	11/5	12/3	1/7	2/4	3/3	
185	ホトトギス	2													
187	ツツドリ	2													
188	カッコウ	1		雨			夏					4	3		
192	アマツバメ	2		天			休					1	6		
194	タゲリ	1		中			み					3	2		
195	ケリ	27		止											
202	イカルチドリ	9										4			
203	コチドリ	30	1									6			
204	シロチドリ	4													
219	タシギ	4													1
227	チュウシャクシギ	2													
235	アオアシシギ	1													
239	クサシギ	3													
241	キアシシギ	1													
244	イソシギ	80	1									2	2	3	2
251	トウネン	1													
266	ハマシギ	1													
286	ユリカモメ	22												3	
293	ウミネコ	3													
294	カモメ	3												1	
299	セグロカモメ	19													
307	コアジサシ	9													
339	ミサゴ	66								2	2	2	2	1	
340	ハチクマ	2													
342	トビ	92	3		1	3		2	2	2	2	2	2		
349	チュウヒ	1													
350	ハイロチュウヒ														1
355	ハイタカ	33	2											1	1
356	オオタカ	25	1		1	2									
357	サシバ	1													
358	ノスリ	34												1	1
366	オオコノハズク	1													
383	カワセミ	97	2		2	1		5	2	4	2	1			
388	アリスイ	9													
390	コゲラ	94	2		5	3		4	3	2	1	2			
393	アカゲラ	6													
401	チョウゲンボウ	53	1			3					1	1	1		
407	ハヤブサ	26													1

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023											2024			
			4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3	10/1	11/5	12/3	1/7	2/4	3/3			
412	サンショウクイ	1															
418	サンコウチョウ	1		雨			夏										
420	モズ	103	2	天	1	4	休	4	12	14	5	7					
435	ハシボソガラス	114	14	中	13	8	み	8	15	34	72	11					
436	ハシブトガラス	111	4	止	3	4		7	2	5	5	3					
438	キクイタダキ	8															
439	ツリスガラ	1															
442	ヤマガラ	7															
443	ヒガラ	1															
445	シジュウカラ	106	14		4	8		13	3	10	3	7					
452	ヒバリ	84	1			1				2							
455	ショウドウツバメ	6															
457	ツバメ	58	2		41	30		19	3								
459	コシアカツバメ	20						3	2								
461	イワツバメ	46			70	2				30		100					
463	ヒヨドリ	115	234		35	33		12	78	87	71	153					
464	ウグイス	109	18		10	15		2	1	7		6					
466	エナガ	87	6		3			2	40	6	3	5					
476	オオムシクイ	5															
477	メボソムシクイ	5															
479	エゾクシクイ	1															
480	センダイムシクイ	7															
483	メジロ	92	2		8	7		8	8	4	4	8					
492	オオヨシキリ	30			6	6											
499	セッカ	29			3	4											
506	ムクドリ	102	9		93	60		10	59	20		13					
508	コムクドリ	5									4						
511	ホシムクドリ	2															
520	マミチャジナイ	1															
521	シロハラ	51	1								1	2					
522	アカハラ	2															
525	ツグミ	55	72								3	4					
533	ノゴマ	1															
536	ルリビタキ	1															
540	ジョウビタキ	55								8	3	1					
542	ノビタキ	13															
549	イソヒヨドリ	33															

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023											2024				
			4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3	10/1	11/5	12/3	1/7	2/4	3/3				
552	エゾビタキ	8																
553	サメビタキ	1		雨			夏											
554	コサメビタキ	17		天			休			1								
558	キビタキ	16		中			み											
560	オジロビタキ	1		止														
561	オオルリ	4																
569	スズメ	114	11		42	28		22	94	45	41	26						
573	キセキレイ	36	1							1	3	2	1					
574	ハクセキレイ	105	5		4	1		4	4	6	14	8						
575	セグロセキレイ	102	2			2		2	1	4	3	2						
584	タヒバリ	29	1									5	2					
586	アトリ	29																
587	カワラヒワ	104	11		6	3					10	17	35					
588	マヒワ	6																
592	ベニマシコ	44									2							
600	シメ	41																
602	イカル	17																
610	ホオジロ	109	14		10	8		2	3	6	4							
614	ホオアカ	6																
617	カシラダカ	23																
618	ミヤマホオジロ	1																
624	アオジ	65	3									13	4	6				
628	オオジュリン	17																
	コジュケイ	13																
	カワラバト(ドバト)	110	○		22	1		12	21	30	24	23						
	ハッカチョウ	1										6						
	カッコウSP	5																
	アイガモ	3							1	1	1							
	メボソムシクイSP	5									2							
	ヒタキSP	3																
種数合計(自動計算)			45	30	30		26	32	39	48	49							
個体数合計(自動計算)			559	408	248		163	426	432	691	709							
探鳥会参加者数			16	28	16		15	12	25	26	24							
11 年 間	1~2回		2012年1月~2023年12月の11年間に観察回数 の少ない種・多い種、更に樹林伐採の影響 を受けると思われる種をリストアップした。															
	100回以上																	
今後樹林伐採影響																		